

大楠

56
2017
[平成29年]



図書館キャラクター「ひのと」

Contents

- ① 館長エッセイ
- ② 特集「図書館を使いこなそう!」
- ⑦ NEWS [図書館からのお知らせ]
- ⑩ Information
- ⑪ Library Data

特集

図書館を使いこなそう!



図書館は情報の宝箱

改めていうまでもありませんが、大学生は「生徒」ではなく「学生」です。そもそも、「生徒」と「学生」は何が違うのか？「生徒」は受け身の姿勢で「教えてもらう者」ですが、「学生」は自律的に「自分で学ぶ者」です。では、大学生にとって、図書館とはどのような場所でしょうか？図書館は「与えられて学ぶ場所」ではなくて、自ら知的好奇心に駆られて「学びに行く場所」です。大学生の生徒化が嘆かれる中で、図書館こそ大学生の本領を発揮できる場所です。いま、ほとんどの人がパソコンやスマホを持っていて、瞬時に様々な情報を手にすることができます。しかし、そこから得られる情報は、必ずしも信頼できる情報源からのものばかりではありません。それに対して、図書館に所蔵してある本は信頼性の高い情報源といえます。いわば、情報の質の違いといえます。インターネットの普及に伴って本離れが進んでいるともいわれていますが、図書館を利用すれば、書店で本を購入しなくてもさまざまな情報を手に入れることができます。

少し前の数字ですが、文化庁の調査（「国語に関する世論調査」平成25年度）によると、20代の40.5%が1ヶ月に一冊も本を読まないとのこと。この数字がそのまま本学の学生に当てはまるかどうかはわかりませんが、ふだんは本を読まない人でも、図書館の本を手にするだけで、新たな興味を抱くことがあるかもしれません。どんな小さな疑問でも図書館で調べてみてください。調べ方がわからないときはレファレンスサービスを活用してください。レファレンスサービスは文献検索や資料探しのお手伝いをします。図書館では本以外にも、DVD・CD・データベースなど有形・無形の情報を得ることができます。レポートや卒業論文を作成するための文献検索、研究個室での個人学習、ラーニング・コモンズでのグループ学習、AVコーナーの利用など、図書館の活用方法は多岐にわたります。

学びとは本来楽しいものです。図書館を使い尽くして、情報の宝探しをしてみてください。

そういえば、本学の図書館って宝箱みたいな形してませんか？



林 裕

Hiroshi Hayashi

副学長、商学部教授

保険論専攻

著書／『保険の基礎知識』『家計保険論』『リスク社会における生活設計』『家計保険と消費者』『保険論講義』（いずれも税務経理協会より出版）など。

O a k s
大楠

Oaksとは

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹周り4～5mに達する県木でもある緑豊かな楠の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks（Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System）と命名しました。

特集

図書館を使いこなそう!

みなさんは「図書館」にどんなイメージを持っていますか。
「本を借りるところ」、「勉強するところ」、「新聞や雑誌を読むところ」…。
本学の図書館は、たくさんの機能や設備・サービスを備えています。
グループワークやディスカッションができるラーニング・commonsのほか、閲覧エリア、パソコンコーナー、AVコーナー、研究個室、学習室などがあり、さまざまな場面でみなさんの「学びをサポート」しています。
さあ、これを機会に、ぜひ図書館を使いこなして、充実した大学生活を送りませんか。



入門編

図書館で何ができる？

1

F

アクティブゾーン

グループワークやディスカッションができるアクティブラーニング対応の空間です。
ラーニング・commonsフロアでは、電子ホワイトボードも利用できます。



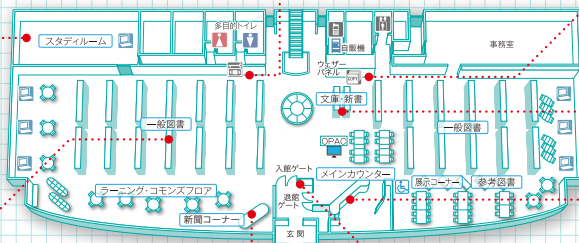
ロッカー



文献複写(コピー)



スタディールーム



新着図書



一般図書



新聞コーナー



入退館ゲート



メインカウンター

入門編 図書館で何ができる？

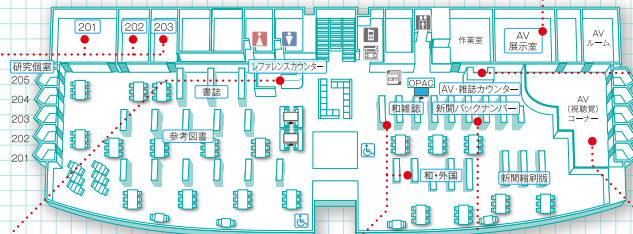
2F

サイレントゾーン

長机や個人キャレルが配置されており、新聞・雑誌や参考図書を使うなど、長時間での利用に適した空間です。



グループ学習室



AV展示室



AV・雑誌カウンター



レファレンスカウンター

文献資料の調査や図書館利用等についての質問にお答えするカウンターです。



和雑誌・外国雑誌

約1,100種類をタイトルの五十音順またはアルファベット順に配架しています。



新聞バックナンバー

約50種の国内新聞・外国新聞が閲覧できます。



AVコーナー

3F

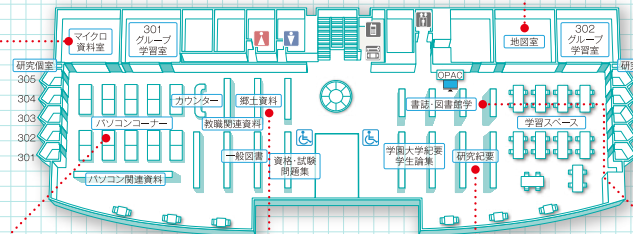
スーパーサイレントゾーン

各大学の紀要や資格試験問題集など、日常の学習に必要な資料が並んでいます。学習や研究に集中できる静かな空間です。



マイクロ資料室

マイクロフィルムおよびマイクロフィッシュ約17,000点を収集しています。



地図室

1/25000、1/50000の地図や掛地図・大型の地図帳を収集しています。



パソコンコーナー

80台のパソコンを設置しています。



郷土資料



研究紀要

各大学で発行される研究紀要約1,700種類を大学名の五十音順に配架しています。



書誌・図書館学

B_F



AVホール(地下1階)

AV機器を設置し、110席を有するホールです。



書庫(地下1階、地下2階)

地下2階の固定書架は約30万冊、地下1階の電動書架は約70万冊の資料を収容できます。

何がどこにあるか、
わかりましたか？
それでは、実際に図書館を
使ってみましょう。



レポートや課題に取り組む



レポートや課題のテーマを調べる時、2階にある参考図書コーナーが最初の手がかりになります。目録や索引などの書誌もこの場所にあります。辞書、事典、年鑑、白書、ハンドブックなどの各種参考図書を使って、ことばの意味、テーマの概要、統計資料を調べることができます。

また、データベースも文献収集に役立ちます。

インターネットやWord、Excelなどを使う場合は、各フロアにあるパソコンや貸出用のノートパソコンを利用してください。



個人学習

個人で研究や学習をする場合に利用できるキャレル(学習机)やパソコンコーナーが、各フロアにありますので、積極的に活用しましょう。2階と3階の研究個室を利用する場合は、2階のレファレンスカウンターで手続きをしてください。



グループで使う

少人数のゼミやグループでの学習や勉強会でディスカッションできる場所として、1階にはラーニング・commons(LC)、2階と3階にはグループ学習室があります。電子ホワイトボードやプロジェクター、書画カメラなどの機器も備えています。LCは自由利用ですが、LCでイベントや講義(ゼミ)などを実施する場合は、事前申込みが必要です。



ルールを守って
利用しましょう。



飲み物はふた付きだけ。



携帯電話はマナーモードで。



実践編 図書館に行ってみる、使ってみる。

本を探す、借りる、予約する



貸出、予約については
ホームページをご覧ください



図書館の本は「日本十進分類法 (NDC)」にしたがって分類されているので、同じテーマに関する本は近くの棚に並んでいます。そこで関連分野の分類番号をおぼえておくとう便利です。

本を探すときは、まず図書館蔵書検索 (OPAC) にキーワードを入力して検索してみましょう。図書館の本は、「請求記号」順に、書架の左から右、上から下へ並んでいます。検索したら、「所在」と「請求記号」を手がかりに本を探してください。

貸出、予約については図書館HPの利用案内 (学内の方の利用について) を参照してください。

データベース・電子ジャーナル・電子ブックを活用する

日経テレコン

朝日新聞 記事データベース 聞蔵Ⅱビジュアル

leol

辞書・事典、雑誌記事・論文、新聞記事、企業情報・有価証券報告書、判例情報などを国内外のデータベースですばやく簡単に探すことができるうえ、本学が契約している電子ジャーナルとオンラインデータベース (EBSCOhost等)、電子ブックを活用することができます。

データベース・電子ジャーナル・電子ブックは学内のどこからでも利用することができます。



データベース



電子ジャーナル・
電子ブック

雑誌・新聞コーナーを活用する

約1,100タイトルの和雑誌・外国雑誌、約50種の国内新聞・外国新聞が2階にあります。貸出できないので館内で利用しましょう。必要な箇所は著作権の範囲内でコピーできます。

雑誌は全て雑誌タイトル名順、和雑誌 (五十音順)、外国語雑誌 (アルファベット順) で、配架されています。雑誌の最新号は各棚の前面に配架され、過去1年分は各棚の中にあります。必要な巻号が棚にない場合はカウンタースタッフに尋ねてください。



AV (Audio Visual) コーナーを活用する

2階AVコーナーには映画、ドキュメンタリー、語学学習用の教材、音楽などのビデオ・DVD・CDなど15,000点の視聴覚資料があります。

資料の貸出はできませんが、好きな資料を選んで視聴覚ブースで視聴することができます。語学学習用の教材は、2週間貸出ができるので、借りたい場合は2階のAVカウンターで手続きをしてください。



応用編 図書館を使いこなす。

各種ガイダンスへ参加しよう



より充実した図書館利用方法、本や論文などの文献探索法、データベースを使った情報探索法、レポートの書き方、引用・著作権を説明するガイダンスを開催しているので積極的に参加しましょう。

ガイダンスには、授業時間内に実施するステップアップガイダンスと、授業以外で図書館が開催するガイダンスがあります。

授業以外では、学生の情報リテラシーを高めるために、就職活動にも役立つ業界・企業情報などのビジネス情報の収集法が学べるデータベースの講習会などを実施しています。

【実施例】

- CiNii Articlesを用いたレポート作成及び苦手克服講習会
- 日経テレコンではじめる企業・業界研究
- eolを利用した就活に役立つ有価証券報告書読み方セミナー
- 「EBSCOhost」データベース講習会
- 就活生向け「新聞記事の探し方」講習会



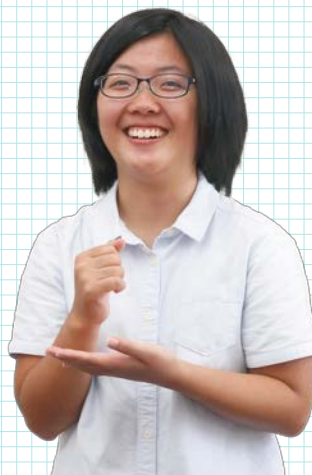
詳しくは
ホームページを
ご覧ください

レファレンスサービスを利用しよう

2階レファレンスカウンターでは、学習・調査・研究に必要な資料・情報等を効率的に取得できるよう、図書館のスタッフがサポートしています。

主なサービス内容は以下のとおりです。気軽に質問・相談してください。

- 図書館の利用案内(資料の探し方、入手法がわからないなど)
- 蔵書検索(OPAC)の利用法
- 各種データベースの利用法
- 資料の所在調査
- 資料の書誌的事項の調査
- 特定事項の調査
- 特定のテーマについての文献検索支援
- 学外図書館への所蔵調査、貸借・資料複写依頼等の申し込み受付
- 他情報機関の資料閲覧のための紹介状発行



詳しくは
ホームページを
ご覧ください

学生コンシェルジュに相談しよう



学生コンシェルジュは1階のラーニング・commons (LC) に常駐し、図書館の案内や資料を探すお手伝い、レポート・卒論作成のサポートや学生生活における相談の受付などを行っています。いろいろな質問に対して、「こういう方法があるよ」とか「ここで調べてみたらわかるかもよ」とアドバイスをする存在です。

どうぞ気軽に学生コンシェルジュに話しかけてみてください。



図書館facebookで
コンシェルジュ通信
配信中!



図書館用語の
解説について

1 主なイベント

(平成28年)

12月10日(土) 映画上映会「Girl Rising～私が決める、私の未来～」

12月～1月 子どもの本の店「竹とんぼ」書店 小宮さん親子／翻訳家 小宮由氏に関する資料展示

(平成29年)

1月 トルストイ翻訳家 北御門二郎氏に関する資料展示

2月 社会学者 Z・バウマン氏に関する資料展示

3月～4月 ポクラはこんな本を読んできた～卒業生式読書術～ 資料展示

4月～5月 『資本論』刊行150年 / 夏目漱石 生誕150年 資料展示

4月14日(金) 講座「図書館で朝活」

6月8日(木) 日経NEEDS-Financial QUESTデータベース講習会

7月3日(月)～7日(金) 学生コンシェルジュによるライブラリーツアー

7月12日(水) 学生懸賞論文説明会

7月25日(火) Web of Scienceデータベース講習会

7月27日(木)～9月30日(土) 図書館員が選びました!クマガク事務職員にすすめる本 資料展示



2 映画上映会「Girl Rising」

12月10日(土)に「Girl Rising～私が決める、私の未来～」を上映しました。

公益財団プラン・インターナショナル・ジャパンが展開する、女の子の権利を擁護するキャンペーン“Because I am a Girl”を通じ、途上国の女の子の現実と彼女たちへの支援の輪を広げるための「自主上映会」として企画したものです。昨年に引き続き2度目の上映となります。

先生方からの後押し(授業時の紹介など)もあり、総数251名が参加しました。

アンケートには「世界の諸問題、とりわけ貧困と幼い女の子の現状を知った。」

「教育、女性の権利、子どもの生きる権利と、“子どもの教育”が大切であることに気付かされた。」

「境遇に負けず頑張っている、希望と夢を持って立ち向かっている女の子たちを応援したい。」

といったコメントが寄せられました。

女の子の権利に関する未解決の問題など、参加者自身が考え、捉え直す良い機会となったようです。興味や関心がボランティアなどの自発的行動へと結びつくことができれば幸いです。



関連資料や新聞記事も展示



上映後のふりかえり

3 図書館で朝活

4月14日(金)に「図書館で朝活」を開催しました。講師はNIE(教育に新聞を)専門委員の越地真一郎先生(本学招聘教授)。熊本日日新聞の朝刊を使って、3つの力(社会を見つめる力・考える力・表現する力)を磨くことを目的としています。

早朝から新聞に目を通すことで、読む習慣もつき、仲間との意見交換では新たな発見につながります。さまざまな出来事について自分の考えを持ち、相手にわかりやすく伝える、つまり、読む・書く・話す・聞くという共通の基本スキルは、「言葉の力」であることに気付かされます。折しもこの日は熊本地震が発生してからちょうど1年。紙面を通して、これまでの復興の歩みや自分自身の振り返りをすることができました。

記事の見方、ニュースの深読み、就活対策について、豊富な情報をどのように集めるか、どう活かせばよいかなど、講座を通してたくさんのヒントを得ることができました。



新聞を読む習慣をつけよう!



月2回の定例化も決定「新聞で朝活」

4 ライブラリーツアー

7月3日(月)～7日(金)に、熊本地震の影響で図書館新入生ガイダンスに参加できなかった2年生を対象とするライブラリーツアーを実施しました。図書館のどこにあるのか、どんなサービスができるのかなどを学生コンシェルジュが紹介していきます。

ツアー3日目の参加者は経済学部の2年生。友達との待ち合わせやレポート作成でラーニング・commonsを利用しているとのこと。ツアー後に「本の借り方や資料の探し方など、知らないまま図書館で過ごすことが多かった。」「これからは図書館を活用して、夢や目標に向かってチャレンジしたい!」と笑顔で話してくれたそうです。20分の短い案内ですが、学生協働による図書館を広く内外へアピールできるように、秋学期も実施する予定です。



5 学生懸賞論文 平成28年度審査結果・表彰式

熊本地震のため、図書館として十分な支援ができなかったことが影響し、平成28年度の学生懸賞論文はわずか5篇の応募に留まりました。しかしながら、悪条件にもかかわらずこうして応募があったことは喜ばしいことです。どうもありがとうございました。審査結果は次のとおりです。表彰式は1月18日(水)15時からラーニング・commonsで行われました。



《入 選》1篇

宮崎 新多 (英米学科3年)	The Minister's Black Veil —〈表現者〉フーパーと〈表象物〉ヴェールの本質—
----------------	---

《佳 作》1篇

兵藤 夕菜 (経済学科4年) 〈共同執筆 他3名〉	熊本地震で見えてきた新たな課題 ～アンケートから見えてくる地域の絆～ (学年は平成28年当時)
------------------------------	---

平成29年度募集と説明会開催

今年度も応募に関する説明会を7月12日(水)ラーニング・commonsで開催しました。社会福祉学部の高木亨先生の講演「フィールドワークの大切さ」のあと、図書館職員から文献検索方法を説明しました。10月から審査に入ります。平成16年度以来該当者なしの“特選”がついに出来るでしょうか。結果は、平成30年1月上旬の予定です。しばらくお待ちください。



6 オープンキャンパスで 大学図書館体験

7月23日(日)、8月9日(水)の両日、オープンキャンパスが開催されました。学部説明会、模擬講義などの合間を利用して、多くの高校生みなさんが図書館に見学にきてくれました。AVコーナーを体験したり、データベースで文献を探したり、新聞縮刷版で自分の誕生日の新聞を発見したり、普段入ることができない大学図書館に触れるいい機会になったと思います。次はぜひ本学の学生として利用していただきたいものですね。



7 図書館新入生ガイダンス

大学図書館の機能とサービスの理解、日々の学習活動に図書館を有効利用してもらうための基礎的な支援として毎年実施しています。今年は『図書館の森～WALK～』と称した問題を読み解き、館内散策後に本を1冊借りるスタイルを提示しました。図書館を森に見立て、テントやトレッキング用品を並べたり、小鳥のさえずりをBGMに選んだり、フロア全体でアウトドアの雰囲気仕上げ、地下書庫や個室にも“しかけ”を施し、夏目漱石をクイズの題材にするなど、随所にゲーム感覚を取り入れて学生が楽しめる参加・体験型ガイダンスを目指しました。



〈全体の流れ〉

前半のプレゼンテーションでは、ゾーニング化した図書館の“場”や“空間”を紹介し、「サービス」と「知／繋がり」の拠点に重点を置きました。また、ラーニング・コモンズフロアや学生コンシェルジュの活動を動画で紹介するなど、学生協働による学習支援の取り組みをアピールしました。

後半では、これまでの課題を検証し、初の試みとなる図書館の“機能”や“データベース”、雑誌や新聞記事の探し方、出典の明示など情報収集後の展開や活用方法を説明し、スマートフォンを用いたWebサービスによる問題の答え合わせとアンケートを実施しました。

〈ガイダンス効果〉

ガイダンスを通じて図書館の施設とサービス、図書館員による支援の存在を知ること、図書館を活用しようという意識が芽生えたようです。資料を集めての課題レポート作成や、個室・グループ学習室を利用するといった自発的な学びへと繋がっています。

〈次年度に向けて〉

積極的な情報発信と利用教育の普及へつなげていくことを目標に掲げ、次年度も利用者のスキルアップや情報リテラシーに繋がるガイダンスとなるような改善策を図ります。さらに、新しい学びのスタイルへの対応や図書館の活性化を目指しつつ、正課授業との連携、学習支援に根ざした図書館プログラムの企画を検討していきます。

実施期間：4月13日(木)～6月7日(水)

対象者：基礎演習・基礎科目履修の1年生

受講者：1,115名(履修者：1,188名) 再履修者含む

受講率：94パーセント

実施ゼミ数：82ゼミ(教員81名 ※1ゼミは閉講につき実施せず)

実施回数：20回

所要時間：演習、選択科目及び必修科目の授業時間(90分)

内容：・図書館の利用案内

・地下書庫見学、館内散策

・図書の借り出し実習、新聞記事及び雑誌記事の探し方、データベース紹介

・Webアンケート

8 ステップアップ・ガイダンス

坂上紳先生とゼミ生(経済学科1年)



実施期間：4月中旬～7月中旬

対象者：在学生・院生

受講者：322名

実施回数：28回

内容：・データベース及び電子ジャーナルを使った情報収集

・新聞記事及び雑誌記事の探し方、論文作成に関する情報収集の仕方

・DVD視聴「ゼミ発表の仕方」「レポート・論文の書き方」「引用の仕方」

・本学に無い資料の探し方、入手方法

・マイライブラリの活用方法

・法律及び判例文献情報の探し方

・Webアンケート

9 熊本国府高等学校インターンシップ

昨年は熊本地震被害からの復旧作業中で受け入れることができなかった、熊本国府高等学校インターンシップ。今年は7月5日(水)～7日(金)までの3日間を予定していましたが、やはり大雨の影響で初日だけの実施となってしまいました。受入、目録、AV、参考業務を体験して、翌日からはいよいよメインカウンターの実習というところでしたので、とても残念です。1日だけでしたが、みなさん真剣に取り組んでいて勉強になったと思います。将来の役に立ちますようにと願っています。これからもがんばってください。

10 帯山中学校 ナイストライ

「熊本市ナイストライ事業」の依頼を受けて、帯山市立中学校の職業体験学習を今年も実施しました。9月12日から14日の3日間、6名のみなさんです。大学が夏休み中ということもあり、図書館利用者はそれほど多くはありませんでしたが、カウンター業務など図書館業務を体験してもらいました。緊張した様子ながら、真面目に取り組んでいました。



Information

蔵書検索リニューアル

平成29年9月に蔵書検索システム(OPAC)がリニューアルされました。新システムでは本学所蔵の検索後、同じキーワードで国会図書館や本学機関リポジトリの検索もできるようになりました。また、校込検索や仮想書架といった、便利な新機能も充実しています。

新しくなった蔵書検索システムをぜひご利用ください。

新URL <https://lib-opac.kumagaku.ac.jp/drupal/>

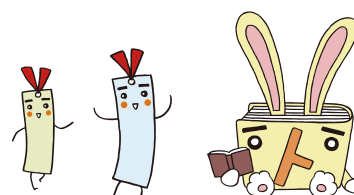


「こんな本があればいいのに…」が叶う！
あなたの選んだ本が図書館の本になる！

第1回 選書ツアーを開催します

概要：本学学生に図書館へ置く本を、書店で選んでもらいます
日時：11月18日(土) 14:00～(1～2時間程度)

※詳細は図書館HP(右のQRコード)をご覧ください。

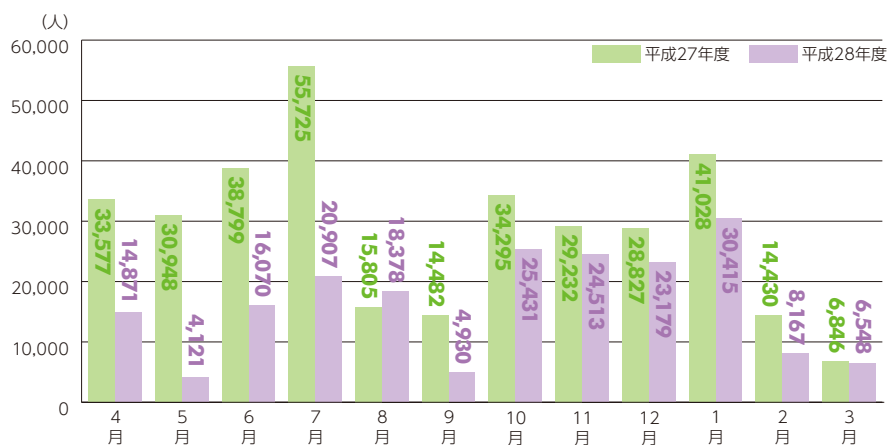


入館者数統計

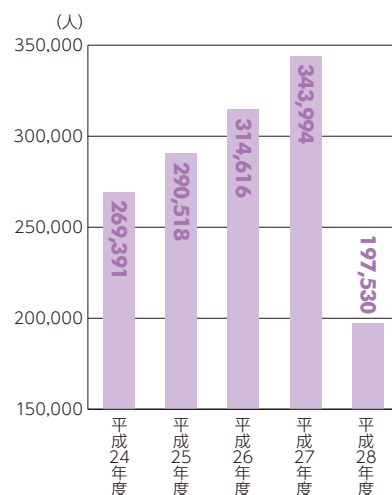
熊本地震から半年で復旧!!



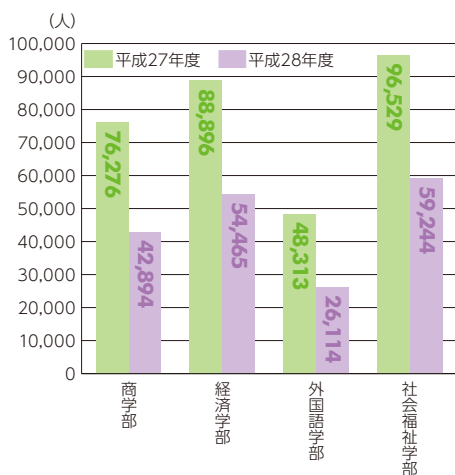
月別入館者数



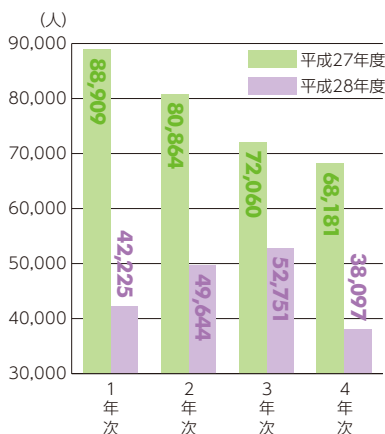
入館者数(過去5年間比較)



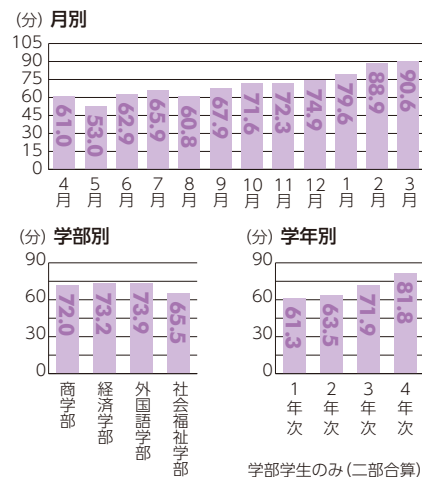
学部別入館者数



学年別入館者数



平均滞在時間



受入統計

平成28年度		
	洋書	和書
購入	439	4,896
寄贈	32	212
合計	471	5,108



ラーニング・コモンズ利用統計

平成28年度	
内容	利用回数
授業等	48
講座・講習会等	9
学生企画	27
図書館企画	5
その他	2
合計	91

※事前に利用申込を受けた分



ILL依頼・受付件数

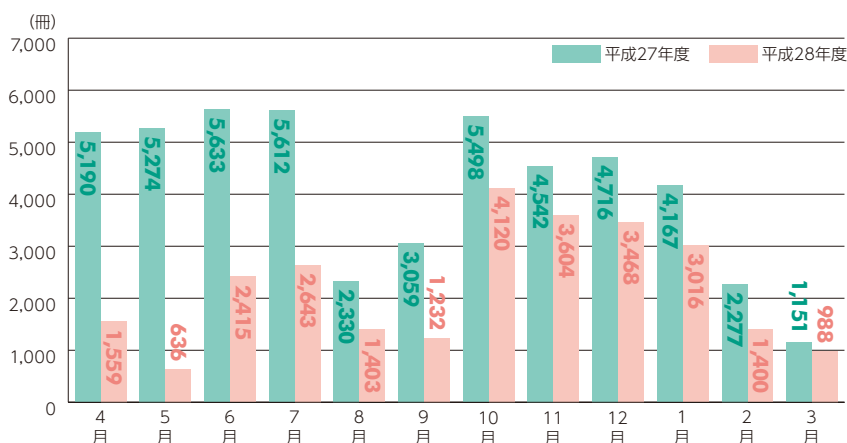
平成28年度		
	依頼	件数
依頼	複写	561
	貸借	403
受付	複写	508
	貸借	137

冊数統計

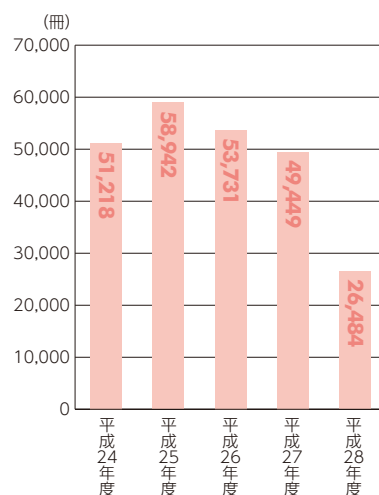
平成28年度
利用統計

貸出冊数統計

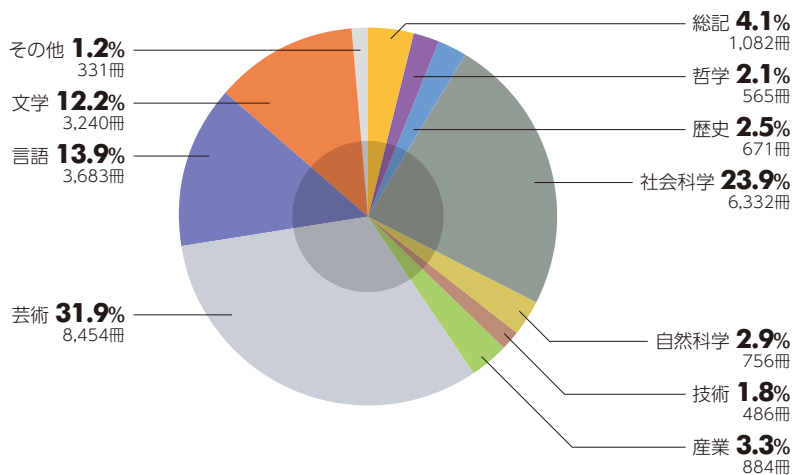
月別貸出冊数



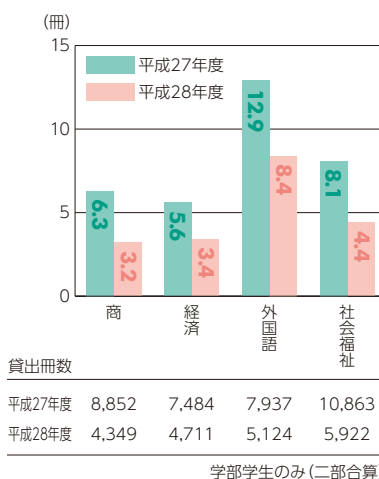
貸出冊数(過去5年間比較)



分野別貸出冊数 平成28年度



学部別一人あたりの貸出冊数



データベース利用統計

平成28年度(件数)	件数
日経テレコン21	88,412
eol	13,271
MAGAGINEPLUS	624
CiNii機関定額制	19,892
LEX/DB	1,328
EBSCOhost	3,018

AVコーナー利用状況

	人数
平成24年度	14,845
平成25年度	16,910
平成26年度	14,986
平成27年度	14,717
平成28年度	10,565

統計より Statistics

平成28年度は4月の熊本地震で半年以上もの間、閉館や部分開館を余儀なくされたため、殆どの数値が前年度より下回っていますが、月別入館者数は春学期の定期試験が8月に実施されたこともあり、8月のみ前年度を上回っています。そのなかで個人の滞在時間には殆ど変化がみられません。

今後の課題として、10月24日に全面開館したあとも入館者数の減少が続いているので、様々な観点から原因を究明していきたいと考えています。



Library Diary

図書館日誌

2016年12月～2017年10月まで

図書館行事

- 12月6日・図書館委員会
- 12月18日・休館(天皇誕生日 通常授業に伴う開館)
- 12月25日～1月4日・休館(年末年始休業)
- 1月9日・休館(成人の日)
- 1月14日～1月15日・休館(大学入試センター試験)
- 1月18日・学生懸賞論文表彰式
- 1月30日・図書館委員会
- 2月1日～3月22日・春休み長期貸出
- 2月6日～2月9日・休館(一般入試)
- 2月11日・休館(建国記念の日)
- 3月7日・休館(一般入試)
- 3月17日・図書館委員会
- 3月20日・休館(春分の日)
- 3月24日・学位記授与式
- 3月29日・休館(年度末処理)
- 4月1日・入学式
- 4月13日～6月7日・新入生ガイダンス
- 4月29日・休館(昭和の日)
- 5月3日・休館(憲法記念日)
- 5月4日・休館(みどりの日)
- 5月5日・休館(こどもの日)
- 5月30日・休館(創立記念日)
- 5月31日・図書館委員会
- 7月12日・学生懸賞論文説明会
- 7月17日・休館(海の日)
- 8月3日～9月11日・夏休みの長期貸出
- 8月10日・休館(法定点検)
- 8月11日・休館(山の日)
- 8月12日～8月20日・休館(夏期一斉休業)
- 9月18日・休館(敬老の日)
- 9月24日・休館(秋分の日 通常授業に伴う開館)
- 10月8日・休館(体育の日 通常授業に伴う開館)

見学者・団体

- 1月20日・阿蘇中央高等学校(21名)
- 2月13日・宮崎県立宮崎南高等学校(31名)
- 2月15日・千原台高等学校(44名)
- 2月18日・翔陽高等学校PTA(15名)
- 2月23日・菊池高等学校(29名)
- 3月2日・熊本県立菊池農業高等学校(25名)
- 3月3日・福祉系大学経営者協議会(10大学26名)
- 3月15日・熊本県立多良木高等学校(40名)
- 3月15日・熊本県立天草高等学校倉岳校(27名)
- 3月15日・熊本県立牛深高等学校(24名)
- 6月15日・くまもと清陵高等学校(18名)
- 6月22日・宮崎県立飯野高等学校(13名)
- 6月30日・福岡県立玄洋高等学校(28名)
- 6月30日・佐賀県立多久高等学校(25名)
- 7月4日・鹿児島県立明桜館高等学校(25名)
- 7月5日・佐賀県立佐賀東高等学校(72名)
- 7月6日・宮崎県立宮崎南高等学校(30名)
- 7月12日・熊本商業高等学校(150名)
- 7月20日・宮崎県立都城西高等学校(10名)
- 8月26日・福岡女子短期大学(40名)
- 9月29日・黒石原支援学校(8名)
- 10月11日・熊本国府高等学校(115名)
- 10月11日・松橋高等学校(15名)
- 10月25日・熊本商業高等学校(50名)
- 10月27日・熊本信愛女学院高等学校(54名)
- 10月31日・清水公民館時事問題講座(15名)

編集後記

今年はいつまでも暑く、身体の調子を崩した人も多かったのではないかと思います、利用者の皆さんはいかがでしたでしょうか。

今回の特集は、基礎的な内容になってしまいましたが、図書館の利用者が少しでも増えるようにと考えた結果の選択でした。

図書館は知の宝庫と呼ばれるところです。紙ベースの資料だけでなく、現在のニーズにあった情報もデータベースなどで手に入れることができます。

「まだまだ足りないぞ」というところは、ご指摘いただければ、前向きに改善していきます。これからも利用者にとって、居心地、使い心地のよい図書館であり続けたいと思っています。

特集にも書いたように、図書館には色々な設備、機能があります。

皆さんは、図書館を使いこなしていますか。

(Y・K)

